

足羽川洪水災害調査対策検討報告書

平成 17 年 3 月

平成 16 年 7 月福井豪雨
足羽川洪水災害調査対策検討会

まえがき

足羽川は県庁所在地の中心市街地を貫流しているが、河川の治水安全度としては必ずしも十分とは言えない状況である。これまで、中小河川改良工事全体計画に基づき、日野川合流点から順次、河積の拡大および橋梁の架け替え工事を進め、流下能力の向上に努めているところであった。

平成 16 年 7 月 18 日に発生した福井豪雨は未曾有の局地的短時間豪雨となり、県内各所において越水や破堤による甚大な被害が発生した。特に足羽川では、現況の流下能力を大きく上回る洪水が発生し、破堤により福井市街地が甚大な被害を受けた。

福井県では、洪水被害の再発を防止するため、今回の洪水に関して、洪水発生から氾濫被害までの実態を把握するとともに、今後の治水対策等の方向性を検討することを目的として、平成 16 年 8 月 4 日、「平成 16 年 7 月福井豪雨 足羽川洪水災害調査対策検討会」を設置した。

これまで 4 回にわたって検討会を開催し、被災住民や行政から越水・破堤の状況についてアンケート調査を実施して実態把握に努力するとともに、福井県が提出する出水時の関係資料などをもとに、福井豪雨の特徴や地形との関連性などの気象特性、越流量や河川水位などの洪水特性、堤防および地盤の状況や破堤要因などの堤体特性、行政機関・消防団等の活動状況や避難勧告・避難指示の発令状況などの危機管理状況について解析・検討を行なった。そしてこれらの妥当性を論議した上で、慎重に審議を進め、今後の治水対策、情報提供のあり方等についてとりまとめた。

足羽川は福井市中心部を流下する河川であり、「福井市のシンボル」となる河川である。

福井県におかれては、本検討会の調査結果・提言をもとに、安全ですこやかな川づくりが一日も早く進められることを要請する。

平成 17 年 3 月

平成 16 年 7 月福井豪雨

足羽川洪水災害調査対策検討会

委員長 中川 一

足羽川洪水災害調査対策検討報告書

目 次

1 . 検討会の概要-----	1- 1
1.1 目 的-----	1- 1
1.2 位置づけ-----	1- 1
1.3 構 成-----	1- 2
1.4 検討の概要-----	1- 3
2 . 足羽川洪水災害の概要	
2.1 足羽川の概要-----	2- 1
2.2 平成 16 年 7 月福井豪雨の概要-----	2- 5
2.3 平成 16 年 7 月福井豪雨の被害概要-----	2- 7
3 . 平成 16 年 7 月福井豪雨の実態把握-----	3 -1
3.1 気象特性-----	3- 1
3.1.1 福井豪雨の特徴-----	3- 1
3.1.2 過去の主要降雨との比較-----	3- 4
3.1.3 福井豪雨と地形との関連性-----	3-11
3.1.4 気象予報の実態-----	3-13
3.2 洪水特性-----	3-15
3.2.1 河道の水理特性-----	3-15
3.2.2 越流量の推定-----	3-16
3.2.3 河川水位の推定-----	3-18
3.2.4 平面流況の推定-----	3-21
3.3 破堤要因-----	3-24
3.3.1 堤防および地盤の状況-----	3-25
3.3.2 被災状況-----	3-29
3.3.3 破堤要因の推定-----	3-33
3.4 危機管理-----	3-46
3.4.1 行政機関、消防団等の活動状況-----	3-46
3.4.2 避難勧告、避難指示の発令状況-----	3-48
3.4.3 住民調査結果-----	3-51
3.5 課題の整理-----	3-58

4 . 再度災害防止に向けて-----	4- 1
4.1 基本方針-----	4- 1
4.2 気象予報・洪水予報-----	4- 2
4.3 河道改修-----	4- 2
4.4 堤防強化-----	4- 6
4.5 情報の収集、伝達-----	4- 7
4.6 河川管理 -----	4-11
4.7 桜堤の取り扱い -----	4-12

参考資料

検討会開催経緯